

YES 通信

〒819-1116 糸島市前原中央2-2-22波多江ビル2F 電話 321-4119 2013年7月号

安心領域という言葉を知っていますか？

先月の保護者面談で、あるお母様から、娘が高校に合格してからとても辛そうだという相談を受けました。しかし、それは良くないことなのでしょいか？

絶対出来る！と確信を持っている行動領域を安心領域といっています。

この領域にいと、快適ではありませんがほとんど成長していません。私達が未知の領域にチャレンジするとき、安心領域の外側で行動しています。この時は、結構苦しかったり、大変だったりするので、かなり不快感を伴うものなのです。しかし、この安心領域外での行動は着実に力がついてきます。スポーツでも楽しい楽しい練習をしていると上達しません、きつい練習をしていると体力がついてきます。仕事でも同じです。楽な仕事ばかりしていると全くスキルアップしませんが、高いレベルに向かって挑戦していると、きは確実にスキルが身につくとい

るのです。

しかし、得てして私たちは安心領域外で活動することを避けてしまいがちなのです。

でも本当に大切なことは、安心領域で楽に過ごしているときは、自分の成長が止まっている非常に危険な状態であり、安心領域外で苦しんでいるときは、自分が成長している非常に貴重な状態であるということとを認識することが大切なのです。

私の大好きな本に「手紙屋」という本があります。その本の中には、「世の中に楽しいことはいない」と書いてあります。本当の楽しさとは苦しさを乗り越えた後に生まれるものなのです。苦しい練習を耐えた結果、勝利することによって初めて本当の楽しさが現れるようなものなのです。ですから日々楽しさや快楽を求めるのはそもそも間違っていることなのです。

じゃあどのようしたらいいの

でしょうか？

もっと自分の成長に焦点を当てて、自分から進んで安心領域の外に出るよう意識することが大切です。

無理やり安心領域外に置かれるのはとてもストレスになります。しかし、自分から進んで安心領域外で活動することは、案外頑張れるものなのです。日頃から自分に負荷をかけて、安心領域外の不快な感じを、いかに自分にとってプラスと感じられるか？そこが試されているのだと思います。

辛さの先の成長や喜びを感じられる様になって欲しいと思います。



やる気相談室

考動

一日に何回、指示や命令を出していますか？

っていきます。

るのかもしれませんが。

「自分で考えて

以前、ある塾長さんのプロ

子供たちは、いずれ親の指

行動できる人材」

グにこんなことが書いてあり

示も命令もないところで大人

いろんな会社の求

ました。「子供は子どもではな

として生きていかななくてはな

める人材像にこの

く、大人でありただ体が小さ

りません。そのためにも一日

ような言葉が入っ

ただけである。」と、その塾長

も早く指示命令に変わる関わ

ています。行動で

さんが言わんとしていること

り方をして、子供たちに自分

きるではなく考動

は、普通の親は子供を子供と

で考え行動できる人間になっ

ている人が求めら

して育てているが、子供を早

て欲しいものです。

れているわけで

く大人にするように育てなけ

しかし、面談で一番多い悩

す。私も、自分の子供や生徒

ればならないということであ

みが、実は「言わないとしな

たちに考動できる人材になっ

す。

いからついつい言ってしまう

て欲しいと考えています。

子育ての本来の目的は、早

う」ということです。結局、

しかし、会社でもそうです

く自立した人間に育てること

二つトリが先か卵が先かとい

が、指示や命令の多い所では

なのです。

うことになるのですが、私が

指示待ち族のような、言われ

そのためには、失敗もさせ

考えているは、指示命令に変

れば行動する人材が増えてき

ないといけないでしょうし、

わる関わり方を身に付ける必

ます。

自分で考えさせることも必要

要があるということなんです。次

子供だって同じです。常に

命令をどれだけ我慢できるの

回からはそんなことを触れな

指示や命令をされているとだ

か？という親力を試されてい

ます。



書籍紹介コーナー

手紙屋

人気の作家さんなので、すでにご存じの方も多いとおもいますが、敢えて紹介させていただきます。喜多川泰氏の「手紙屋」蛍雪編です。「何のために勉強するのだろうか？」「何のために大学に行くのだろうか？」そんな誰もが抱く素朴な疑問に、この本は答えてくれます。しかも、読みにくいことが全くなくて、主人公と手紙屋の手紙のやり取りで、主人公が成長していく様を物語形式で書いてあります。とても楽しく読むことが出来ます。物語形式の自己啓発書といった感じですが、喜多川さんの本は、この本では受験生に対するメッセージですが、「手紙屋」では就活をする大学生に向けてのメッセージになっていますし、そのほか人生に対しての本や経営者向けの本等、いろんなジャンルがあるので是非読んでみられてください(^) / 塾にも置いてますのでこの夏いかがですか？